



大阪府後発医薬品安心使用促進のための
協議会(平成31年3月18日) 配布資料

後発医薬品使用促進に向けた 八尾市保健所の取り組み

八尾市について

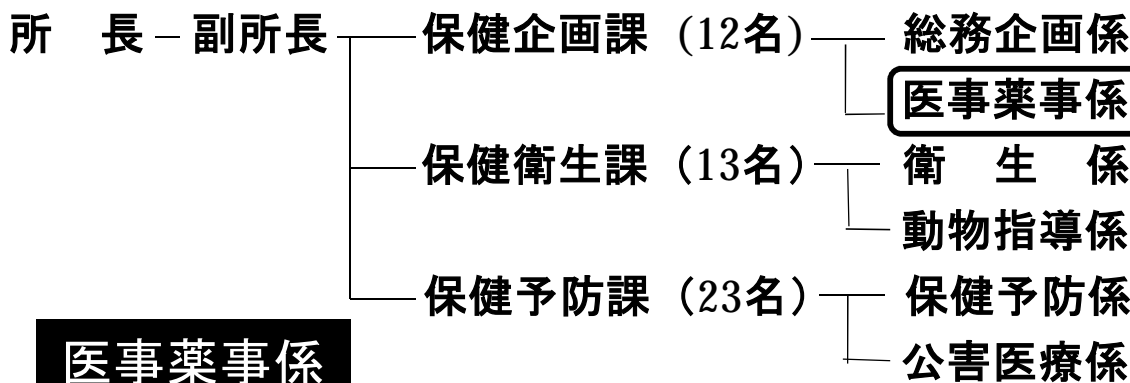
市制施行	昭和23年4月1日
市域面積	41.72km ² (大阪府 1,905.14 km ²)
人口	266,708人 (H31.2.28現在) (大阪府 8,820,255人) (H31.2.1現在)
医療施設	病院 12 (H31.3.1現在,以下同じ)
	診療所(医) 216
	診療所(歯) 139
	薬局 100



平成30(2018)年4月、中核市に移行し、保健所を設置すると共に、薬事関係の権限の一部が大阪府から移譲されました。



八尾市保健所について



医事薬事係

職員数：5名（行政職1名、薬学職4名）
 所管業務：医事及び薬事に関すること



2

八尾市における後発医薬品の使用割合 （数量ベース）

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
八尾市	50.3% 14位	56.9% 15位	61.9% 16位	67.4% 13位	72.7% 9位
大阪府	48.5% 39位	55.3% 42位	60.2% 41位	65.5% 42位	70.0% 42位
全国	51.2%	58.4%	63.1%	68.6%	73.0%

※ 1 データは厚生労働省「調剤医療費(電算処理分)の動向」参照

※ 2 各年度末時点

※ 3 順位は、八尾市は府内順位、大阪府は都道府県順位を記載

八尾市の目標

後発医薬品利用率(数量ベース) **80%**

(八尾市国民健康保険第2期データヘルス計画(2018～2023年度))



3

平成30年度 医薬品適正利用等啓発事業

1. 市民を対象にした啓発事業・意識調査
2. 地域の薬局で調剤された医薬品情報の共有
3. 薬剤師を対象にした調査
4. 後発品医薬品を適正に使用するための方策の検討

4

1. 市民を対象にした啓発事業・意識調査

八尾市薬剤師会の協力のもと、市の施設等を活用して、市民が後発医薬品の理解を深め、安心して使用していただくための講習会やイベントを行った。

併せて、来場者に意識調査を実施した。

- 1) 地域の健康祭り(市内出張所開催)
- 2) 地域のがん検診・特定健診
- 3) 高齢者給食会
- 4) 八尾市主催のイベント

健康まちづくり宣言式典、合同コミセン祭り、美容所衛生管理講習会、**市民公開講座**

- 5) 関係団体主催のイベント
- 6) その他

- ・FMちゃお「情報プラザやお」出演(薬剤師会)
- ・「薬と健康の週間」イベントとして啓発ブース設置(アリオ八尾)
- ・市政だより
- ・後発医薬品希望メッセージ入りのケースを配布(健康保険課の窓口)



5

市民公開講座

八尾市保健所・八尾市立病院共催
八尾市民公開講座

市民の皆様のご健康や医療費のことを一緒に考えてみませんか

参加費 無料
先着100名様
事前申し込み要

ジェネリック医薬品を知ろう！

ジェネリック医薬品って何？
どうして安い？
安いけど効くの？
新薬と色や形が違うものがあるけど…

日時 平成31年3月9日（土）
午後2時～4時

会場 八尾市立病院 北館5階 大会議室
〒681-0009 八尾市龍華町1-3-1

講師 佐藤 貴俊 先生 (OTSUKAHARA)
橋本 裕子 先生 (YOSHINOBU)
小川 克彦 先生 (KAWAKATSUNO)

申込 参加には、事前申し込みが必要ですが、詳しくは裏面をご覧ください。

お問い合わせ 072-922-4111
八尾市保健所 保健企画課
072-922-0661
072-922-4965

※ご来場の際は、できるだけ公共交通機関(電車・バス等)をご利用ください。

1. 市民を対象にした啓発事業・意識調査



6

市民(患者)を対象にした調査

【目的】 市民の後発医薬品の認知度を把握すること

【対象】 八尾市内のイベント、健(検)診に参加された市民

【調査期間】 平成30年7月21日から11月18日まで

【調査方法】 平成28年度大阪府が使用した調査票を準用し、八尾市薬剤師会の協力のもと、各催しの来場者に聞き取り

【回答数】 735

【主な結果】

・後発医薬品はほぼ全員に認知されていた(95.6%)

・後発医薬品を使いたいとの回答割合は、H28の府の調査では28.7%

だが、今回調査では62.0%であり、市民の使用意向が高まっていた

1. 市民を対象にした啓発事業・意識調査

7

2. 地域の薬局で調剤された医薬品情報の共有

【現状】

院外処方せんには、薬の「一般名」が記載されることが多くなっている。この場合、処方した医師から、「実際患者さんに調剤された医薬品の銘柄や剤型が分かりづらく、不安である。」との声があがっている。

【対策】

処方医に、調剤された医薬品の情報が伝わるよう、患者さんに、医療機関を受診するときにも、お薬手帳を持参するよう働きかけを行う。

【方法】

市内の薬局で、患者さんに対し啓発（チラシ配布と声かけ）



患者さん向けチラシ

お薬手帳を活用しましょう

医療機関を受診する際にもお持ちください！

八尾市保健所 保健企画課
072-994-0661
【受付時間】 8:45 ~ 17:15

お薬手帳をお持ちでない方は、「かかりつけ薬剤師・薬局」にお申し出ください。「かかりつけ薬剤師・薬局」を決めていない方は、普段から利用する薬局を一つ「かかりつけ薬局」に決めて、ご相談ください。

ジェネリック医薬品とは...

新薬 先発医薬品 の特許期間が満了した後に発売される同じ有効成分を使った品質、効き目、安全性が同等で、低価格のおくすりです。

医薬品
医療用医薬品 一般用医薬品
新薬 ジェネリック医薬品

※医療用医薬品は、医師の診断によって処方されるおくすりです。
※一般用医薬品は、いわゆる市販薬（大衆薬・OTCともよばれています。）とのことで、薬局やドラッグストアなどで、処方箋がなくても購入できるおくすりです。

経済性に優れ、患者さんの負担を軽減します。

品質、有効性、安全性は新薬と同じです。

患者さんに優しい製剤工夫がされているものもあります。

八尾市保健所 保健企画課 072-994-0661
【受付時間】 8:45 ~ 17:15

3. 薬剤師を対象にした調査

【目的】

薬剤師の後発医薬品の調剤実態を把握すること

【対象】

八尾市内に勤務する薬剤師

配布先	対象数	回答数
病院	12病院(108人)	90
薬局(薬剤師会会員)	86薬局	60
薬局(薬剤師会非会員)	12薬局	16
回答数(総数)		166

【期間】

平成30年11月9日から12月21日まで

【結果】

フォーミュラの認知度は、病院、薬局ともに低かった



4. 後発品医薬品を適正に使用するための方策の検討

医療機関又は薬局において、後発医薬品を採用する際の参考としていただくために、市内の病院で採用されているジェネリック医薬品の品目リストをまとめる。

後発医薬品汎用リストとは

- 都道府県内の主な病院で採用されている後発医薬品汎用リスト
- 後発医薬品汎用リスト 37都道府県が作成 (※大阪は未作成)
- 医療機関の主な意見

大病院が後発医薬品を採用すると周辺地域への導入に大きな影響を与えるので、シェアや採用品目等を定期的に公表してほしい。

(厚生労働省 平成30年度 行政事業レビュー公開プロセス資料「後発医薬品使用促進事業」より)

市内病院の採用後発医薬品リストを作成すれば、他の医療機関の使用促進につながるのではないかと

八尾市内の病院における採用後発医薬品調査の結果

市内各病院の回答状況

病院数	回答数	リスト提供	病院名公表可
12	12	12	11

	内用薬	外用薬	注射薬	歯科用
成分数	282	80	139	3
後発医薬品数※	875	215	356	3

※規格違いを含む

後発医薬品の使用割合 (平成30年11月1日時点)

病院名	後発医薬品の使用割合		伸び率
	H30.4	H30.10	
A	65.7%	70.7%	5.0%
B	79.1%	85.8%	6.7%
C	83.7%	85.1%	1.4%
D	68.7%	75.0%	6.3%
E	81.9%	85.4%	3.5%
F	算定不可	算定不可	-
G	38.0%	40.0%	2.0%
H	83.6%	85.9%	2.3%
I	72.0%	74.0%	2.0%
J	91.1%	91.3%	0.2%
K	86.6%	89.1%	2.5%
L	76.9%	78.8%	1.9%

4. 後発品医薬品を適正に使用する
ための方策の検討

4月→10月で全ての病院で使用割合は増加
(平均約3.1%増加)

12

八尾市版後発医薬品汎用リスト(作成中)

特徴

注:本資料は、事務局が作成した素案を紹介したものです。

- ①厚生労働省作成の「薬価基準収載品目リスト」と同様に4つ(内用、外用、注射、歯科用)に分類して、薬効分類別(薬価基準収載医薬品コード順)に掲載
- ②病院名の公表不可と回答した病院があったため、病院名は明らかにせず、採用施設数のみ公表
- ③先発医薬品か否か、又は加算の対象となる後発医薬品か否かについては、厚生労働省作成の「薬価基準収載品目リスト(2018年12月12日版)」で判定
- ④後発医薬品の薬価と先発品(準先発品※、代表的な品目を含む)との薬価差を記載
※準先発品:昭和42年以前に承認・薬価収載された医薬品であって、同一剤形・規格で価格差のある後発医薬品があるもの
- ⑤府内における医薬品の使用状況を参照できるように府NDBの順位(先発を含む)を記載

八尾市医薬品適正使用に関する懇話会

● 医薬品を適正使用するための現状把握及び具体的方策について、外部有識者を交え、専門的な見地から幅広く意見を聴取することを目的に設置

● 懇話会の委員は、以下の組織に所属する者

- | | |
|------------|--------------|
| (1) 医療関係者 | (一社)八尾市医師会 |
| | (一社)八尾市歯科医師会 |
| | (一社)八尾市薬剤師会 |
| (2) 八尾市関係者 | 八尾市立病院 |
| | 八尾市保健所 |

● 平成31年2月19日に開催

4. 後発品医薬品を適正に使用するための方策の検討



14

その他：後発医薬品差額通知の実施

健康保険課と連携し、処方された薬を後発医薬品に切り替えた場合に、自己負担額が一定以上軽減される可能性のある市内の国保加入者を対象に、ジェネリック医薬品差額通知書を発出。

【発送数】約3,000件／年

【通知回数】年3回

(平成30年9月・11月,平成31年1月)

発送対象者選定に
保健所が協力！

今後の八尾市の取組み案

- 1 後発医薬品汎用リストを改良・更新していく
- 2 “フォーミュラリ”を市内の医療関係者に知っていただく

“フォーミュラリ”とは・・・

米国薬剤師会では、「疾患の診断、予防、治療や健康増進に対して、医師を始めとする薬剤師・他の医療従事者による臨床的な判断を表すために必要な、継続的にアップデートされる薬のリストと関連情報」と定義されており、医療機関における患者に対して最も有効で経済的な医薬品の使用における方針として提唱されている。

(平成27年11月20日第91回厚生労働省社会保障審議会医療保険部会資料より)



16

フォーミュラリの紹介

消化性潰瘍治療薬 (PPI/プロトンポンプ阻害剤) 一覧

成分名	先発品	後発品
ア. オメプラゾール	オメプラール®錠 オメプラゾン®錠	有り
イ. ランソプラゾール	タケプロン®カプセル	有り
ウ. ラベプラゾール	パリエット®錠	有り
エ. エソメプラゾール	ネキシウム®カプセル ネキシウム®懸濁用顆粒	-
オ. ボノプラザン	タケキャブ®錠	-

17

これまでの後発医薬品使用推進の 方向性(多くの場合)

成分名	先発品	後発品
ア. オメプラール錠	オメプラール®錠	有り
イ. オメプラゾン錠	オメプラゾン®錠	有り
ウ. タケプロンカプセル	タケプロン®カプセル	有り
エ. パリエット錠	パリエット®錠	有り
オ. エソメナプタール	ネキシウム®カプセル ネキシウム®懸濁用顆粒	-
カ. ボノプラザン	タケキャブ®錠	取組みの外

後発医薬品があるものは、
後発医薬品を使用しましょう!

ネキシウム®カプセル
ネキシウム®懸濁用顆粒
タケキャブ®錠

取組みの外

フォーミュラリの考え方

成分名	先発品	後発品
ア. オメプラール錠	オメプラール®錠	有り
イ. オメプラゾン錠	オメプラゾン®錠	有り
ウ. タケプロンカプセル	タケプロン®カプセル	有り
エ. パリエット錠	パリエット®錠	有り
オ. エソメナプタール	ネキシウム®カプセル ネキシウム®懸濁用顆粒	-
カ. ボノプラザン	タケキャブ®錠	-

患者に対して最も有効で経済的な医薬品は？(全てが検討の対象)



プロトンポンプ阻害剤のフォーミュラリ(例)

第一選択薬	第二選択薬	第三選択薬	備考
●オメプラゾール (ア. 後発品)	○パリエット®錠 (ウ. 先発品)	○ネキシウム®懸濁用顆粒(科限定) (エ. 先発品)	○ネキシウム®カプセル (院外へ)
●ランソプラゾール (イ. 後発品)		○タケキャブ®錠 (科限定)	(エ. 先発品)
●ラベプラゾール (ウ. 後発品)		(オ. 先発品)	

患者に対して最も有効で経済的な
医薬品の使用における方針



八尾市ではどの程度“フォーミュラリ”が認知されているか？

[市内で勤務する薬剤師を対象に後発医薬品の調剤実態を把握するために実施したアンケート調査票より]

【問】

「患者のための薬局ビジョン」実現のためのアクションプラン検討委員会報告書(平成29年3月31日 厚生労働省)において、

薬局の薬剤師と医療機関の薬剤師との間で連携しつつ、処方医等と協働して対応することが求められる。医療機関で使用する医薬品に関しては、経済的な視点も考慮しながら、最も有効で安全な薬物療法が行われるよう、院内でフォーミュラリを策定する動きもあるが、これを地域のフォーミュラリとして薬剤選択を考えることも将来的には有効な手法になると考えられるので、薬局の薬剤師もこうした薬剤選択に関わっていくことが求められる。

とされています。フォーミュラリについてご存知ですか。

回答集計	
1 よく知っている。	6.0%
2 知っている。(聞いたことはあるが、定義や内容は知らない。)	28.9%
3 知らない。(このアンケートで初めて知った。)	59.0%



今後の八尾市の取組み案

後発医薬品汎用リストを改良・更新していくとともに、“フォーミュラリ”を市内の医療関係者に知っていただく機会を設けていきたいと考えています。

ご清聴ありがとうございました。

